

■編集発行／社会福祉法人養父市社会福祉協議会 〒667-0022 養父市八鹿町下網場320（地域交流センター「福祉の杜」）
平成26年7月15日発行 ■電話（079）662-0160 ■FAX（079）662-0161 ■E-Mail yabu-shakyo@fureai-net.tv
■ホームページ <http://www.yabu-shakyo.jp/>



◀あなたの笑顔がふるさと
まもるの言葉を添えて、小
谷稔さん
(=6月20日、養父
市関宮)

▲「今日は東北の人たちのことを想いながら描きました」と
ペンクラブの皆さん(=6月20日、関宮ふれあいの郷)



「元気うちわ」作りに ボランティアが協力

同クラブ代表の西谷美智子さんは「被災地の皆さんに市老連・県老連から、宮城・岩手県の県老連へ贈られます。このうちわは支援金と共に市老連・県老連から、宮

み、優しい心を持つてもらうことのお手伝いができたらしいですね」と話しました。

このうちわは支援金と共に市老連・県老連から、宮城・岩手県の県老連へ贈られました。

子さんは「被災地の皆さんがあうちわを見て気持ちが和らいでいる」と話しました。

2枚に朝顔とアジサイの絵を細部まで丹念に描きました。また、ペンクラブのメンバー8人は、体調を気遣う言葉などの応援メッセージを添えて金魚やビワ、朝顔などを描いた絵手紙を18枚のうちわに貼りつけました。

今年はこのうちわの制作に、小谷稔さん(関宮)と絵手紙グループ「ペンクラブ」が協力しました。

小谷稔さんは、白うちわ2枚に朝顔とアジサイの絵を細部まで丹念に描きました。また、ペンクラブのメンバー8人は、体調を気遣う言葉などの応援メッセージを添えて金魚やビワ、朝顔などを描いた絵手紙を18枚のうちわに貼りつけました。

(県老連)は、阪神・淡路大震災で全国から受けた心温まる支援が大きな励みとなり仲間同士の絆の大切さを強く感じた経験から、東日本大震災被災地へ支援の心として「元気うちわ」を届ける活動をしています。

兵庫県老人クラブ連合会(県老連)は、阪神・淡路大震災で全国から受けた心温まる支援が大きな励みとなり仲間同士の絆の大切さを強く感じた経験から、東日本大震災被災地へ支援の心として「元気うちわ」を届ける活動をしています。

「みんなでつくる みんなのしあわせ」に向けて

新体制でがんばります！

新役員・評議員・支部運営委員の紹介

任期満了に伴う、理事・監事・評議員・支部運営委員の選任がそれぞれ行われ、次の方々が就任しましたので、ご紹介します。

任期は、平成26年6月1日から平成28年5月31日までです。（敬称略）

盛夏の候、市民の皆様には、ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、養父市社会福祉協議会の事業推進に格別のご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私は、このたびの役員改選で養父市社会福祉協議会会长に就任いたしました。

重責でございますが、誠心誠意務めてまいります。どうか皆様のご指導、ご鞭撻を賜りま

すようよろしくお願ひいたします。

人口減少社会を迎えた今日、単身世帯の増加、少子化などを背景とした生活課題の深刻化、人と人、人と社会とのつながりの希薄化による暮らしの不安など、地域の過疎化もされることながら心の過疎化が広がっています。

こうした中、養父市社会福祉を念頭に進めてまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

一、私達の使命、仕事は何か
一、私達は、誰のために仕事をするのか
一、私達に求められる価値、成果は何か

私は、このたびの役員改選で養父市社会福祉協議会会长に就任いたしました。

重責でございますが、誠心誠意務めてまいります。どうか皆様のご指導、ご鞭撻を賜りま

すようよろしくお願ひいたします。

そして、私は、

協議会では、平成25年度から平成29年度の5ヵ年計画「第2次地域福祉推進計画」を策定し、「ささえあう心で笑顔あふれる福祉のまちづくり、みんなでつくるみんなのしあわせ」と福祉目標を謳つて諸事業を進めております。

財政的には、介護保険事業収入、会費などの収入減少で厳しい状況ですが、市民の皆様はじめ、ボランティア、行政、関係機関、諸団体のご支援、ご協力を賜りながら事業を推進してまいります。

就任あいさつ



社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

会長 小林哲夫
(八鹿町下八木)

副会長 橋本幹夫（浅野）



過疎と高齢化が著しく進み、限界集落から消滅集落といった言葉が出始めています。少しでも長く活気ある村づくりが行え、安全で安心して暮らせるよう、地域で取り組まなければなりません。第2次計画の「みんなでつくるみんなのしあわせ」は、地域住民の理解と協力があつてこそ活動できると思っていますので、そのために微力ながら努力いたします。

理事 植村和好（八鹿町下町）



高齢化社会の今、人は皆住み慣れた温もりのある地域での生活が支えになると

思います。社協のリーダーシップが望まれる中、小地域福祉活動の推進は大きな役割成果を上げており、自身も微力ながら安心安全な地域づくりに貢献できるよう努力して参る事が責務と考えます。

読者の声

平成26年度決算の状況を拝見すると、収入の根幹をなす介護保険事業の大幅な減少があって厳しい協議会運営が今後予測されます。頑張って下さい。（関宮地域 男性 66歳）

理事 田路 初美（八鹿町中八木）



人口減少、少子高齢化の進む養父市ですが、市民一人ひとりが安心して生活できればと願っています。この度理事の選任を受け重責を感じています。地域の方々と社協との『かけはし』となれるよう、微力ながら努力し重責を果たしたいと思います。

理事 北本 博子（船谷）



少子高齢化、過疎化が進んでいます。健康で住み慣れた地域で支え合い、見守り、声掛けが求められ、社協との連携を保ちながら福祉に関わり、微力ですが勉強して行きたいと思っています。よろしくお願いします。

理事 岩本 利幸（大塚）



幸せの実感。それは、他の人と繋がって心が和むとき。「福祉」は「幸せ」故に、福祉は、人と繋がりを作る立役者。絆の希薄化、孤立感が深まる中、益々求められる地域住民同士の繋がり。微力ではありますが、社協の役割を学びながら尽力したいと思っています。

理事 高橋 真生（大屋町若杉）



人口の減少が年々続き、少子高齢化の進む中、社協への住民のニーズも年々高まっています。財政的にも収入減による厳しい状況ですが、自分達の地域で安心して生活できるよう行政との協力体制を強く意識しながら、多くの意見を参考に努力したいと思います。

理事 井原 弘志（大屋町栗ノ下）



社会福祉協議会は當利を目的としない社会福祉法に定められた民間団体です。地域福祉の向上を目指し、広範多岐にわたる活動を開いていますが、人口減少と高齢化は厳しい財政事情に拍車を掛けそうです。健全な運営に微力を注ぎたいと思います。

理事 近藤 穂津子（大屋町筏）



この10年で近所の人数は3分の一ほどになってしましました。それでも多くの人がふるさとを愛し、地域でのぬくもりを支えに暮らして続けています。今こそ本当の人のつながりが求められる時です。誰もが安心して日々を過ごせるよう努めていきたいと思います。

理事 宮岡 秀司（関宮）



住み慣れた地域で安心して暮らすには、共に支え合い助け合いの社会づくりが必要です。この度の理事選任を受け、責務の重さを感じています。誰もが住みたくなるような優しさ溢れる地域となるよう、福祉力の向上に、微力ながら努力させていただきたいと思います。

理事 藤原 孝市（大久保）



この度理事に就任致しました。現在の養父市社協が直面している現況は大変厳しいと思います。取り分け財政的に運営が窮屈になります。小林会長を筆頭に職員と一緒に第2次地域福祉推進計画の実行に向けて頑張って行きたいと思っています。

理事 栄本 茂良（安井）



急激な少子高齢化社会の到来に伴い、住み慣れた地域で今後も安心して暮らせる地域づくりが急がれます。行政、市、社協、地域、諸団体が連携を密にし、実態に即した地域福祉力向上の取り組みが必要です。共に支え合う地域社会を目指し努力を重ねます。

理事 藤本 浩一郎

(健康福祉部長)



少子高齢化が進む養父市では、地域力の再生が喫緊の課題となっています。誰もが住み慣れた地域で元気に住み続けられることが最も幸せなことだと考えます。そのため、地域に住む者同士が助け合い、支え合える地域づくりを進めるために支援して参ります。

監事 森岡 光昭 (広谷二区)



当会の経営環境は益々厳しく、唯一の財源である介護保険収入は大幅に減少しています。政府は介護保険制度を再考し、利用者負担を増加させる内容と考察されます。当会が、魅力ある信頼される団体と認識されることを切望し、コンプライアンスを強化実践していきたいと思います。

監事 藤原 健則 (大屋町大屋市場)



少子・高齢化が進む中で地域の結びつきが不足し、家庭の孤立化が進んでいるのではないかでしょうか。地域で住み続けることの幸せと大切さを認識し、近隣同士の声かけ活動を実行しましよう。多くの市民から信頼される協活動の監査の役を務めます。

支部運営委員

○運営委員長 ○副委員長

(敬称略)

氏名	行政区	選出区分
----	-----	------

【八鹿支部運営委員会】

○植村和好	下町	住民代表
○長島忠士	上網場	当事者代表
多田信雄	門前	住民代表
田路初美	中八木	当事者代表
小林哲夫	下八木	知識経験
辻垣義行	浅間	知識経験
山下吉正	中村	知識経験

【養父支部運営委員会】

○橋本幹夫	浅野	知識経験
○梅井逸郎	鉄屋米地	知識経験
岩本利幸	大塚	住民代表
折杉重広	広谷一区	住民代表
北本博子	船谷	当事者代表
田村すみ	森	当事者代表
藤本茂樹	中米地	知識経験

【大屋支部運営委員会】

○井原弘志	栗ノ下	知識経験
○高橋眞生	若杉	住民代表
安達博之	若杉	住民代表
近藤穂津子	筏	当事者代表
鎌田弘美	夏梅	当事者代表
正垣充正	加保	知識経験
長瀬邦彦	大屋市場	知識経験

【関宮支部運営委員会】

○藤原孝市	大久保	知識経験
○橋本雄一	大谷	知識経験
宮岡秀司	関宮	住民代表
井上薰	万久里	住民代表
柄本茂良	安井	当事者代表
中野博子	中瀬	当事者代表
西谷康子	葛畠	知識経験

評議員

(敬称略)

氏名	行政区	選出区分
谷口義昭	石堂	区長会
中尾進	高柳谷	民生委員
伊崎辰夫	下網場	福祉施設
宮崎吉子	一部	ボランティア
大谷忠雄	坂本	知識経験
茨木やよい	小山	知識経験
橋本源也	馬瀬	知識経験
高岡けい子	大森	知識経験
藤原義幸	中央	区長会
岸本計二	建屋	民生委員
山崎たみ子	三谷	ボランティア
毛利ハルミ	広谷二区	知識経験
堀井克夫	大数	知識経験
田路和代	大坪	知識経験
中山正	能座	知識経験
田畠實	糸原	区長会
松村貴昌	加保	民生委員
西田則子	夏梅	ボランティア
佐野やすよ	糸原	知識経験
和田久美子	門野	知識経験
水田陽子	筏見	知識経験
上垣政雄	樽見	知識経験
米田渡	小路頃	区長会
川本勲	下吉井	民生委員
中野穰	尾崎	福祉施設
田水智美	丹戸	ボランティア
南征夫	尾崎	知識経験
浜田義人	関宮	知識経験
和田絹子	三宅	知識経験
西谷すみ子	小路頃	知識経験

◆任期: 平成26年6月1日～平成28年5月31日

読者の声

毎月楽しく読ませて頂いております。いつもパワーをもらっています。(八鹿地域 女性 72歳)

④ 第121号 かけはし

福祉総合相談員(心配ごと 相談員) 結婚相談員のご紹介

6月6日、福祉総合相談員・結婚相談員全体会を開催し、委嘱状交付と主任相談員等の選任が行われました。

毎週金曜日に開所している総合相談の相談員をご紹介します。

心配ごと相談員

◎主任相談員

(敬称略)

氏名	行政区
○柄本 實	栄町
山下 邦子	町
高階 博	能座
藤本 茂樹	中米地
羽渕 健三	宮垣
井上 恵美子	由良
安達 光生	関宮
米田 渡	小路頃

任期:平成26年6月1日～平成28年5月31日

結婚相談員

◎主任相談員 ○副主任 (敬称略)

氏名	行政区
○松田 穆子	小城
○谷口 珠子	川西
高岡 けい子	大森
高品 政之	鉄屋米地
松村 貴昌	加保
草薙 真木子	和田
田渕 喜久子	丹戸
福井 勝子	関宮

任期:平成26年6月1日～平成28年5月31日

養父市ボランティア・市民活動センター運営委員

◎運営委員長 ○副委員長 (敬称略)

氏名	行政区
○森元 貞夫	大塚
○藤岡 勝子	宮垣
山田 稔	天子
高品 桂子	栄町
広瀬 秀子	九鹿
北本 博子	船谷
片岡 なつ子	上箇
北尾 千阪	宮本
竹田 茂樹	門野
佐藤 正巳	三宅
横谷 ちゑ子	関宮
雲田 美知子	出合

任期:平成26年6月1日～平成28年5月31日

ボランティア・市民活動センター 運営委員のご紹介



6月24日、養父市ボランティア・市民活動センター運営委員会を地域交流センター「福祉の杜」で開催しました。当日は、委嘱状交付や正副委員長の選任が行されました。なお、左記の方々が運営委員として就任しました。

なお、左記の方々が運営委員として就任しましたのでご紹介いたします。

6月24日、養父市ボランティア・市民活動センター運営委員会を地域交流センター「福祉の杜」で開催しました。

【署名問い合わせ】

養父市社協各事務所で署名受付していますが、ひょうごボランティアプラザのホームページ(<http://www.hyogo-vplaza.jp/>)ではオンライン署名もしていますので、お協力をお願いします。

新幹線・飛行機・ホテル等へ
「ボラ割」を!!

「災害ボランティア割引制度」の実現を!!

現在、「自己立替」をモットーとするボランティアに対して、各公共交通機関やホテル・宿泊などに交通費や宿泊費を割り引く制度があります。

平成26年3月17日に実施ボランティア活動に際する報酬を今後も一空に会し、「ボランティア元年」翌年の準備から国や県議会員や航空会員、地元会員などの公共交通機関、旅館・ホテルなどの宿泊施設へ「災害ボランティア割引制度」(ボラ割)の早期実現を実現しました。

この活動に賛同して頂ける個人や企業(団体(学校、NPO等)を含む)全国から募っています。

オンライン署名は
ひょうごボランティアプラザホームページへアクセス!
携帯・スマートフォンからの利用も可能! (ショートカットメニュー)
Email: volawan@hyogo-vplaza.jp
URL: <http://www.hyogo-vplaza.jp/>

「災害ボランティア割引制度」を実現する会
神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー6階
ひょうごボランティアプラザ(兵庫県社会福祉協議会)
TEL: 078-360-8845 FAX: 078-360-8848
E-mail: volawan@hyogo-vplaza.jp
URL: <http://www.hyogo-vplaza.jp/>

「災害ボランティア割引制度」 実現のための署名を!

ひょうごボランティアプラザは、大規模自然災害等からの復旧・復興に欠かせない災害ボランティア活動の障害となっている交通費や宿泊費を割り引く制度の実現を目指して、「災害ボランティア割引制度」を実現する会を発足させ、平成26年1月17日に「災害ボランティア割引制度」(ボラ割り)の早期実現を提案し、署名活動等の啓発活動を実施しています。

集まれ！支部社協

八鹿支部

養父市八鹿町下網場320 地域交流センター「福祉の杜」 TEL : 662-0160 FAX : 662-0161



▲期間中は200人を超える来場者が
ありました(=6月7日、里やま工房)

今年で5回目となる「がつせえアート応援チャリティー展」が、6月6日から8日里やま工房(豊岡市)で開催され、プロの作家による木彫や染織、陶芸など様々なジャンルの作品が展示販売されました。

これは、今秋11月に但馬長寿の郷で開かれる知的・精神障がい者の作品展「第5回但馬ボーダレスアート展『がつせえアート』」を支援するもので、売り上げの半分が開催費用として寄付されます。

障がい者の芸術活動を支援 がつせえアート応援チャリティー展



▲実行委員でガラス作家の鳥山さん

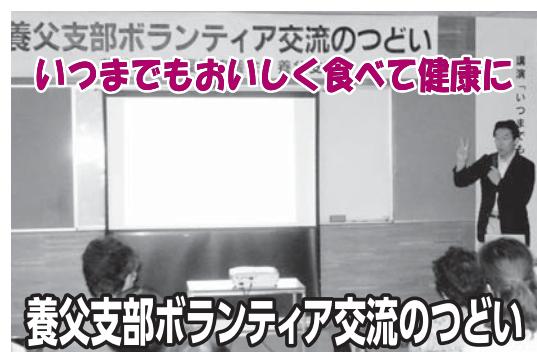
来場者は、作家やボランティアスタッフから作品の紹介やチャリティー展の趣旨など聞きながら、気に入った作品を手に取り笑顔で購入していました。

実行委員でガラス作家の鳥山高史さんは「多くの作家が、支援できるならばと快く協力してくれています。アート展が障がいのある方の社会進出のきっかけとなり、それによって共に芸術を盛り上げていけたらと思います」と真剣な眼差しで語り、代表の茨木やよいさん(小山)は「毎年多くの作家にご協力いただき、がつせえアートが開催できています」と感謝の気持ちを述べていました。

養父支部

養父市広谷251-1 TEL : 664-1142 FAX : 664-2181

養父地域で活動するボランティアが一堂に集い交流を深める「養父支部ボランティア交流のつどい」を6月21日、養父公民館で開催し、45人が参加しました。この日は、大屋歯科保健センター所長の砂治國隆医師を講師に招き、「いつまでもおいしく食べるためには」と題した講演を聞きました。砂治医師は「噛む力のある人は健康余命が約3年も延びるといわれています。よく噛んで食べましょう。また、低栄養にならないよ



▲「楽しくおいしく吃ることは、脳を活性化させ、健康につながります」と話す砂治医師(=6月21日、
養父公民館)



▲「サポートオレンジ」による手遊びを
体験する参加者

う、卵や肉などのタンパク質も少量加え、バランスよく食事をとることも大切です」と話しました。その後、傾聴ボランティアのみの会、養父市子育て支援協力隊、サポートオレンジによるボランティア活動発表も行われました。参加した田路和代さん(大坪)は「食生活や口の健康の大切さを改めて感じました。ボランティアグループの発表はとても素晴らしいもので、今後の活動に意欲が湧いてきました」と感想を述べいました。

読者の声

社会福祉協議会の方が学校に来て下さって4年生の時、福祉=「幸せ」と教えていただきました。ぼくは、みんなを幸せにできるような大人になりたいです。(八鹿地域 男性 11歳)

⑥ 第121号 かけはし

information

大屋支部

養父市大屋町加保678-1 大屋保健センター内 TEL : 669-1598 FAX : 669-0093



▲「この花もええなあ」それぞれ見比べながら楽しそうに植えました (=6月18日、大屋ふれあいの家)

「今日もよう笑つたなあ」「体操して体が楽になつたわ」笑顔で話す利用者。『地域ふれあいの家いきいきサロン』は、介護認定を受けていない高齢者を対象に、孤立感の解消や介護予防などを目的として、毎週水曜日に大屋ふれあいの家で実施しています。

サロンでは、健康体操や手芸、季節の行事、地域のボランティアによるレクリエーションなどで楽しんでいます。利用者の中尾たね子さんは、「お花は大好きなのが嬉しいです。サロンでは、知らない人でもみんな和気あいあい話せるので楽しいし、次回が待ちどおしいです」と話していました。

利用料は1,000円で、送迎は社協が行います。興味のある方はお気軽に大屋支部までご連絡ください。

笑顔の輪が広がる 地域ふれあいの家いきいきサロン

います。昼は、ボランティア手作りのあたたかいごはんを毎食です。

6月18日は、14人が参加し、高木園芸の高木規之さんを講師に招いて、花の寄せ植えを行いました。花の手入れの仕方や寄せ植えのポイントなどの説明を聞き、利用者はミニバラや千日紅、カラソコウなど、自分で好みの花を思い思いに鉢に植え付けていきました。

午後には社協の安心地区推進員が参加して介護予防の体操とレクリエーションの紹介をしました。

参加者は椅子に座って踵やつま先の上げ下げ、足首回し、腰浮かしなどをゆっくりと行いました。推進員からは「足首を回して柔らかくすることは転倒予防になりますので、普段の生活の中でも行ってみて下さい」との説明がありました。



▲脚を使ってボールや輪を送ります (=6月20日 別宮地区ふれあいセンター)

関宮支部

養父市関宮193 関宮ふれあいの郷内 TEL : 667-3248 FAX : 667-3351



▲胸元「パー」、伸ばして「グー」。号令で左右手を代えます

6月20日、別宮地区ふれあいセンターで開催された「別宮ふれあい喫茶」には、ボランティア9人を含め16人が参加し、ボランティア手作りのばらずしやポテトサラダなどの食事とおしゃべりを楽しみました。

午後には社協の安心地区推進員が参加して介護予防の体操とレクリエーションの紹介をしました。

参加した岡幸美さんは「体操もゲームも簡単なようやけど力が入りました。グーパーが難しかったけど体がぬくもつたわ」、また西谷幸子さんは「ふれあい喫茶には楽しみに出させてもらっています。みなさんがんばいようしてくれるので、足が痛いのも忘れます」と

楽しく笑つて介護予防

（別宮ふれあい喫茶）



～介護福祉課からこんにちは～

No.23

福祉用具貸与事業所です

今月は、「介護しやすく、寝ていて負担の少ないベッド、楽匠Z」の紹介です!

- 写真①のようにベッドの背を上げた際に足が下がることで、座っているような姿勢がとれるので、リラックス効果があります。
 - 背を上げた状態では、従来のベッドより目線が広がり、テレビを観ても疲れにくい、食事を摂る時も疲れにくいなどの効果があります。
 - 背を上げた状態から、もとにもどすと、従来のベッドより体がずれにくいためお尻や仙骨などの床ずれのできやすい部分の負担も軽くします。
 - 写真②のように起きあがりがしやすいので、車いすなどにも移りやすいです。
 - 写真③のように64.5cmの高さまで上げられるので、介護者の腰にかかる負担も軽くなり、足元もすっきりして掃除がしやすいです。



① 座位に近い自然な姿勢をとることができます!



② 起きあがりがしやすい!



③ 介護しやすい高さで足元もすっきり!

このほかにも、清潔でその方の生活の要望や、身体的状況に合う福祉用具も取り揃えています。介護保険でベッドや車いす等が必要となりましたら、担当のケアマネジャーに相談されるか、直接当事業所の福祉用具相談員までご連絡ください。

○養父市社会福祉協議会 福祉用具貸与事業所

◆電話：079-662-0160 ◆FAX：079-662-0161

県民ボランタリー活動助成金

エントリー(事前申請)受付中

●エントリー受付期間

7月1日(火)～8月29日(金)

●活動助成額

上限3万円
※エントリー受理数により、減額となる場合があります。

● 申請條件

- ①社会福祉協議会に登録し、県内で活動するボランティアグループ、団体
 - ②団体構成人数が5人以上
 - ③年度中に12日以上活動
 - ④助成対象経費が6万円以上

【問い合わせ先】

養父市社会福補協議会

電話：662-0160

※ 子育てサロンすぐすぐ
※ 8月12日はお休みします

◆ 夏休みプレーパーク

・ 日 時 8月2日(土)
10：00～15：00

・ 場 所 はさまじ里山の森
公園

※ 参加費1人100円

◆ 関宮放課後プレーパーク

・ 日 時 8月8日～14日
16日～30日

・ 場 所 関宮コミュニティ
スポーツセンター
(旧関宮小)

読者の声 かけはし6月号を拝見しました。「いきいき企業のフィランソロピー」で紹介されている市内企業の地域貢献の様子を知ることができました。こういった活動が広まればいいですね。(関東地域 女性 32歳)

⑧ 第121号 かけはし



なか お よしこ
中尾 吉子さん
(関 宮)

たたき、「今年の2月まで食料品店を営んでいました。閉店した今、「愛顧をいただいたお礼のつもりでボランティアに参加することと致しました。

戦中戦後」苦労された高齢者の方々の手助けが微力ながらできたらと思います。お茶を出したりお話を伺ったりして、高齢者の方々の手助けができますことをうれしく思います。

今月の かけはしさん

立戸25年6月1日 立戸25年6月1日(若林田)

善意銀行だより

古切手收集活動

**古切手・ベルマーク・書き損じハガキ等の収集にご協力いただ
いた皆さまをご紹介します。**

ありがとうございます

● 圖名
石けん ボディソープ
タオル ほうれん草
紙おむつ 3人

□にあてはまる漢字3文字を考え
て、ことばを完成させましょう。

■ヒント　これを聞くと夏の暑さが
いつそう増します。

〆切 平成26年7月31日必着
■ 応募先 T-667-10022
養父市八鹿町下網場320
「福祉の杜」内
養父市社会福祉協議会

★前回の答えは
『食育月間』でした

田和研二郎さん（朝倉）
島田 佳幸さん（京口）
内田 秀行さん（万々谷）
岡本 弘季さん（大坪）
上田 優子さん（出合）
以上5名の方が当選されました。
おめでとうござります。

総合相談所のご案内

いざれも相談無料

心配ごと相談・結婚相談

13:30~16:00

身の回りの困りごとや結婚に関する相談はありますか？

- ◆ 7月 25日(金) 関宮ふれあいの郷
- ◆ 8月 1日(金) 地域交流センター「福祉の杜」
- ◆ 8月 8日(金) 社協養父支部
- ◆ 8月 15日(金) 大屋保健センター

弁護士による無料法律相談

13:30~16:30

先着6人の予約制となっていますので、事前に電話でお申し込みください。

- 期 日 平成26年9月17日(水)
- 場 所 大屋保健センター
- 相 談 時 間 1人30分程度
- 申込み先 養父市社協本部 電話 662-0160

くらしの法律相談

8:30~17:00

消費者被害や訴訟問題、成年後見制度、福祉サービス利用援助事業などの相談を社協窓口で受け、担当弁護士に伝えて問題解決のお手伝いをします。

相談は、毎週月～金曜日までの常時、本部及び各支部で受付けています。



うちごえの



まり
お母さんの真理さんに聞きました♪

◆名前はどのようにつけましたか？

楓は秋生まれで紅葉のように彩り豊かな人生を願い、樹は春生まれで少し早く産まれたため、大きな樹の様にたくましく育ってほしいという思いを込め名付けました。

◆今、興味をもっていることはなんですか？

楓は、絵が上手に描けるようになり得意気に毎日描いています。樹は、働く自動車を見るのが大好きで街で見掛けては大興奮です。

◆ご両親から一言メッセージ

姉弟仲良く助け合える優しい心を持った人に成長してほしいです。

パパとママは、二人の笑顔に癒されています。

みんなの

手話教室

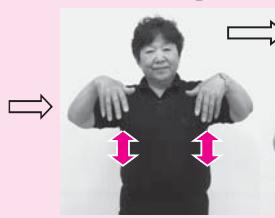
第8回「天気の表現編」

●今日は雨がやんで久しぶりに晴れたね

【今日】

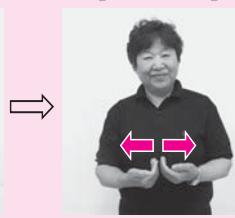


両手のひらで前を軽くおさえる



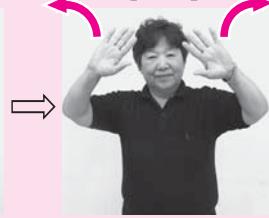
指先を下に向け両手を上下する「雨」の手話のあと、手を上げながら閉じる

【久しぶり】



指の背側を合わせた両手を左右に離す

【晴れ】



交差した両手を左右に開く

【くもり】



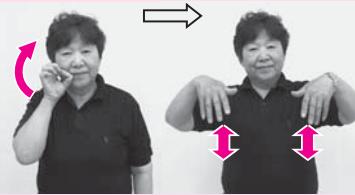
前後に向かい合わせた両手をまわしながら右に動かす

【風】



両手の指を開き、右上から左下に動かす

【梅雨】



親指と人差し指の先をつけた右手を口の端にあてたあと、こめかみに当てる「梅」の後に「雨」の手話をする



手話で大切なことは、伝えたいことを正確に分かってもらうことです。声を出しながら動作はゆっくり大きく、表情豊かに表わしましょう。



この広報紙は共同募金配分金が使われています。